

補足説明 3

JT-60SAの達成目標

- ITERに先行して臨界条件クラスのプラズマ*)を長時間維持する実験を行ない、その成果をITERに反映させる。
*核融合反応による熱出力と高温プラズマの維持に必要な外部からの加熱入力がつり合う条件が「臨界プラズマ条件」
- 原型炉で必要となる高出力密度を可能とする高圧力プラズマを100秒程度維持し、原型炉の運転手法を確立する。

